



MIYUKI
デリカビーズで
作る

Shaped Stitch

シェイプドステッチ

シェイプドステッチとは

シェイプド (shaped[英]: ~の形をした の意味) と ステッチ を合わせた新しい造語の一つで、MIYUKI デリカビーズを使い、ブリックステッチで自由な形の平面モチーフを作る手法です。ペヨーテステッチと編み目は同じですが、端の目を増減しやすいので、ビーズのカラーコーディネートだけでなく、形のアレンジも楽しめます。デリカビーズを使う事でビーズの粒がそろい、形を整えやすく、ブリックステッチを使う事で糸が目立ちにくく、キレイなシルエットに出来るのも特長です。MIYUKI が発信する"ビーズステッチ"の新たな世界を、発見・体験してみませんか？

裏面で、シェイプドステッチの基本をご紹介します。
基本の編み方を参考に、思いのままにシェイプド (shaped) な作品作りをお楽しみ下さい。
初心者向けのキットもご用意しています。

MIYUKI
チャネル

シェイプドステッチ Ch



シェイプドステッチでキュートなアイテムを作ってみませんか？
無料レシピを6月11日から Web で公開予定です。
乞うご期待！！

>> <http://www.miyuki-beads.co.jp/miyukich/shaped/>

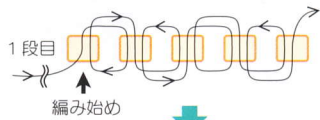
シェイプドステッチ(ブリクステッチ)の基本

ブリクステッチは、ビーズとビーズの間に渡っている糸を拾いながら編んでいきます。ブリクステッチの1段目は、ラダーステッチの技法で編みます。増目・減目は、編地の端でします。

《基本パターン》

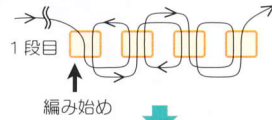
《基本パターン》・・・ラダーステッチ (ブリクステッチの1段目)

《奇数目(1・3・5～)の場合》



《基本パターン》・・・ラダーステッチ (ブリクステッチの1段目)

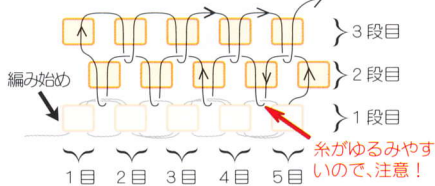
《偶数目(2・4・6～)の場合》



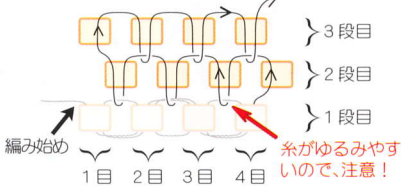
※糸がゆるみやすいので、ビーズを1コ編むごとに引きしめながら編んで下さい。



《基本パターン》・・・ブリクステッチ

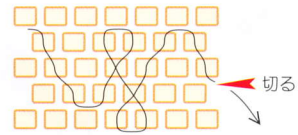


《基本パターン》・・・ブリクステッチ

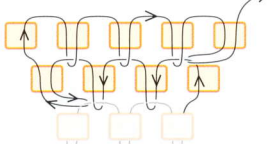


《糸の端始末の方法》

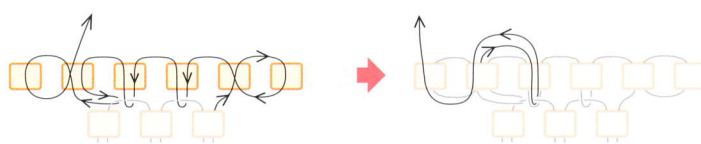
新しい糸を足すときや端始末をするときは、それぞれの糸端を編地のビーズに何度か折り返し通して始末する。



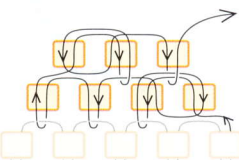
《1目・増目の場合》



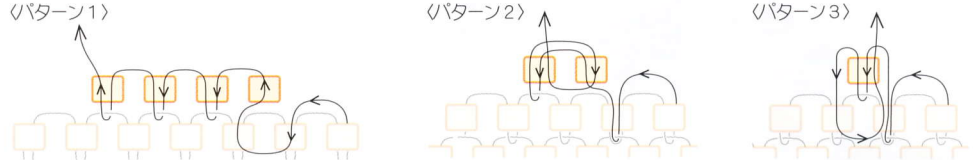
《2目・増目の場合》 前の段の糸を拾って戻り、端のビーズから糸が出るように、向きを変える。



《1目・減目の場合》



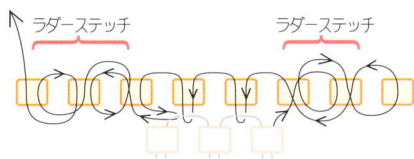
《2目・減目の場合》 残りの目数などによって、3通りの方法があります。目的や状況に合わせて、使い分けて下さい。



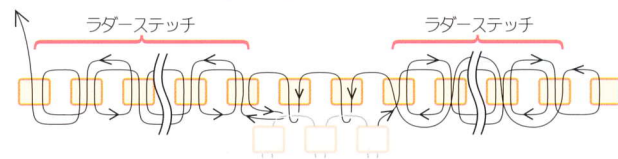
《応用パターン》

《3・5・7～(奇数目)・増目の場合》

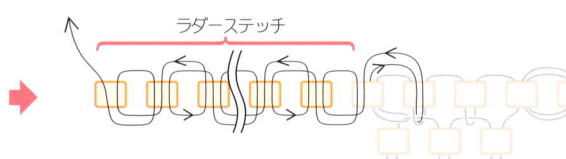
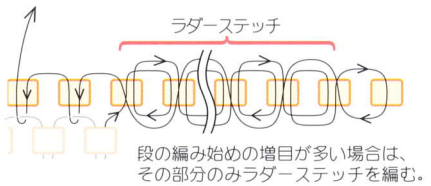
《3目・増目》



《奇数目・増目》 増目が多い場合は、その部分のみラダーステッチを編む。

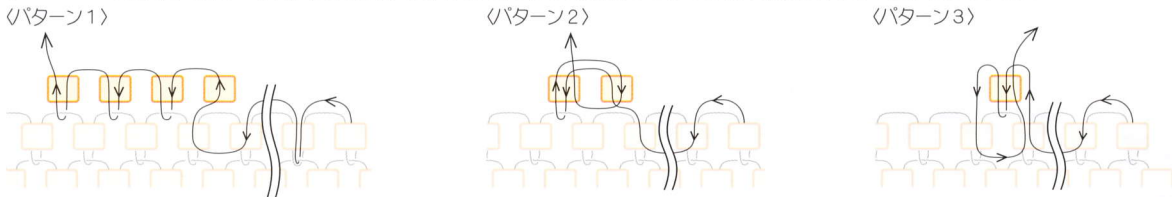


《4・6・8～(偶数目)・増目の場合》



編み終わりの増し目は、前の段の糸を拾って戻り、端のビーズから糸が出るように、向きを変えてから、ラダーステッチを編む。

《3・5・7～(奇数目)・減目の場合》 残りの目数などによって、3通りの方法があります。目的や状況に合わせて、使い分けて下さい。



《4・6・8～(偶数目)・減目の場合》 残りの目数などによって、3通りの方法がありますが、通し方は《2目・減目》とほぼ同じです。目的や状況に合わせて、使い分けて下さい。

